

令和5年度 第2回

ケアマネとリハ職の 情報共有の練習会

定員 75名

参加費無料

今回の事例：

嚥下機能が低下した
パーキンソン病の事例

日時：

令和5年

11月2日（木）

19時00分-20時30分

場所：

姫路市医師会館
5階 大ホール

対象者：

ケアマネジャー等、
リハ職（OT・PT・ST）

企画・協力：

- ・兵庫県介護支援専門員協会姫路支部
- ・兵庫県言語聴覚士会中播磨ブロック
- ・兵庫県作業療法士会中播磨ブロック
- ・兵庫県理学療法士会中播磨支部

<問い合わせ・申込先>

姫路市在宅医療・介護連携支援センター（受託者：姫路市医師会）

TEL：079-295-3330 FAX：079-295-3351

E-mail：med-care@himeji-med.or.jp

【ケアマネの皆さん】

リハ計画書の
活用術を学ぼう！

【リハ職の皆さん】

伝え上手な
リハ職になろう！

内容

ケアマネジャーとリハ職がグループ
ワークで、一緒にリハビリテーショ
ン計画書の情報を整理し、どの
ようにケアプラン作成に活用でき
るかを検討する

練習会で学べる

ポイント

リハビリテーション計画書の

【ケアマネ】

- ①読み取り方
- ②目標設定や支援上のリスク
管理への活用方法

【リハ職】

- ①実際の伝わり方
- ②ケアマネジャーや介護職に
必要な情報の伝え方

★事前申し込みが必要です。
裏面をご確認ください。

ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

2023年11月2日(木) 19時00分～20時30分

【申し込み方法 および申し込み先】

申し込み方法①「参加申し込みフォーム」からのお申し込み

※可能な限り「参加申し込みフォーム」からのお申し込みにご協力ください

URL → <https://forms.gle/9qoHxn57JGLnzKas6>

(当センターホームページ「研修スケジュール」からも申し込みできます)

参加申し込みフォームに必要事項を入力しお申し込みください

参加申し込み
フォームは
こちら



申し込み方法② メールまたはFAXにてお申し込み

E-mail : med-care@himeji-med.or.jp

FAX : 079-295-3351

下記必要事項をお知らせください

《必要事項》

①研修会名 ②氏名 ③所属機関名 ④職種 ⑤E-mailアドレス

⑥電話番号 ⑦FAX番号

⑧必要な配慮がございましたらご記入ください

※直接連絡の上、相談させていただきます。状況により、対応できない場合は
ご了承ください

<例> 車いすスペース、障害者等専用駐車スペース、介助者の同行、手話通訳、
要約筆記、点字資料、拡大文字資料、その他（具体的に）

★申し込み締切：10月26日（木）

※定員に達した時点で受付を終了しますので、お早めにお申し込みください

- ・メールまたはFAXにて申し込み受付完了のお知らせをお送りいたします
お申し込みから4～5日経ってもお知らせが届かない場合は、受付できていない場合
がありますので、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします
- ・当方からの連絡事項等（例えば新型コロナウイルス感染予防対策による中止や延期な
ど）がある場合、お申し込み時に必要事項にてお知らせいただいたメールアドレスに
お送りいたしますので、適宜メールのご確認をお願いします

<お問い合わせ先>

姫路市在宅医療・介護連携支援センター（受託者：姫路市医師会）

対応時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前8時35分から午後5時20分

TEL : 079-295-3330

E-MAIL : med-care@himeji-med.or.jp

FAX : 079-295-3351

ホームページURL : <https://www.himeji-renkei.com/>

※研修会当日は、お問い合わせやメールへの対応ができないことがあります

ホームページは
こちらからでも
ご覧いただけます



第6回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和5年7月18日（火）19時-20時30分 姫路市総合福祉会館



リハ職が書いた情報提供書（リハビリテーション計画書）をケアマネジャーとリハ職と一緒に読み取ることで、
《ケアマネ》生活機能の今後の可能性（将来予測）や、生活上の注意をどうやって確認するか
《リハ職》情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのかについて考え、深めていくことを目的とした練習会になります。
第6回は、ケアマネジャー18名、リハ職25名が参加されました。

今回は、作業療法士会より「社会参加の場に一步踏み出せない脳梗塞後遺症の事例」の提供（リハビリテーション計画書をご作成）をいただきました。9つのグループに分かれて話し合いを行いました。計画書に記載された情報で分からない事などを聞き合いながら、互いに学びを深める時間となりました。



今回の学び・気づき ～グループ発表のご意見より～

- ・《ケアマネ》終了目安が分かるとケアプランの目標に活かせる
→《リハ職》今後の目安（リハビリの卒業や目標達成できる見込み）を具体的に記載することが必要
- ・《リハ職》本人・家族の希望についての情報は、計画書の目標設定に活かせる
→《ケアマネ》本人・家族の希望の内容を、具体的に記載して情報共有する

《参加者アンケート 回答（一部抜粋）》

- ・リハビリテーション計画書の読み解き方が理解できたと思います（ケアマネ）
- ・どのような情報が有用か、どこをリハ職に伝えなければならぬかが理解できた（ケアマネ）
- ・具体的に目標を設定することの大切さを感じました（そのためにはアセスメントが大事）（ケアマネ）
- ・リハ職の方と知り合いが増え、ネットワークが広がった（ケアマネ）
- ・なぜこのような評価をしたか、なぜあのような訓練を選択したか、など理由をストーリーにして入れたいと思う（リハ職）
- ・わかりやすい言葉で具体的に記載しようと思った / 評価項目やリスクなど詳細に記載する（リハ職）
- ・立ち上がりの評価について、イスやベッドからが前提で行われていること。床からの立ち上がりは別扱いで、転倒など不測の事態への対応も評価に入れても良いのかなと思った（リハ職）

次回の「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は11月2日（木）開催予定です
今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます